

第15回卒業証書授与式 校長式辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの両側には、お世話になった先生方や職員の方がいます。後ろには2年生が見守っています。でも、皆さんの卒業を心から喜んでいる保護者や来賓の方たち、そして1年生もこの場にはいません。今日こうして無事に卒業式を迎えられたことも、今の状況を考えると‘奇跡’のようなできごとかもしれません。

今回の突然の学校の臨時休業を経験した私たちは、当たり前の日常がどんなにかけがえのないものなのかを、今さらながら実感させられました。

休み時間の友達との何気ないおしゃべり、みんなで楽しくいただく給食の時間、毎時間の授業での先生とのやり取り…こうした小さな一つ一つのできごとが、実は‘宝物’とも言える時間だったのかもしれません。日常が大きく揺らいだ今、普段は気付かない大切なものの意味や価値に気付いています。そして、これからも私たちは、毎日の生活の一瞬一瞬をもっともっと大切にすべきだということを学びました。

さて、卒業生のみなさんは、王子桜中のよき学校文化を受け継ぎ、さらなる高みを目指して新しいチャレンジもしてくれました。体育祭や文化祭などの学校行事では、頼もしいリーダーとして率先して下級生を引っ張り、見事な成果を残してくれたと思っています。学年を超えて学び合い、教え合う学校文化は確実に下級生に伝わったはずです。

また、生徒会や委員会活動では、本校が目指す「自主」の精神をいかに発揮し、学校生活の向上のために努力してくれました。部活動では、共に頑張った仲間や後輩との絆も深め、本校の部活動を大切に育ててくれました。

さらに、ボランティア活動や地域の活動にも、労を惜しまず率先して参加し協力してくれたことも、皆さんの実績として後輩に受け継がれるべき素晴らしいものでした。

受験という高いハードルを乗り越えた今、皆さんには、次の人生への扉が開こうとしています。これからは自分の意志や行動で未来を切り拓くことができます。王子桜中の卒業生としての誇りを胸に、自分の夢に挑戦してってください。

さて、今日から未来に羽ばたく皆さんに、2つの期待をお話します。

一つ目は、これからの人生で、いつも学び続ける人になって欲しいということです。

「学ぶ」ということは、「山に登る」ことに似ています。一步一步山道を登るにつれて、少しずつ視界が広がり、明るい景色が開けてきます。足下の花々や、空の青さ、雲の白さなど、様々な発見や感動があるでしょう。苦勞してたどり着いた山頂では、ひととき美しい景色を味わうことができるでしょう。しかし、ふと見ると稜線の彼方には、さらに高い

山がそびえていることに気付くはずです。皆さんは、さらなる高みを目指して歩き続けなければなりません。つまり、学ぶことには終わりはないということです。

言い方を変えれば、学ぶということは、自分がいかに知らないことが多いかということに気付く営みかもしれません。しかし、私たちは、学ぶことによって思い込みや偏見から自由になることができます。

「本当に正しいことは何か?」「何が大切なことなのか?」を自分に問い続けることにより、曇りのない眼でものごとの本質を見抜くことができるのです。このことを心にとめて生きていって欲しいと思います。

二つ目は、求める人より与える人になって欲しいということです。

まだ記憶に新しいところですが、去年は台風15号、19号が各地に大きな被害をもたらしました。おりしも日本で行われていたラグビーワールドカップの開催期間と重なり、いくつかの試合が中止になりました。これにより無念の予選リーグ敗退が決まったカナダ代表チームは、滞在中の岩手県釜石市に残り、地元の方たちと共に土砂を取り除くなどのボランティア活動に参加しました。

「人間としていかにあるべきか?」は、これからも皆さんが向き合っていく大きな問いになります。現代は、合理化、効率化を追求することで便利な生活を享受している一方で、人や社会とのつながりの希薄化が懸念されています。こうした中で、「自分さえよければ…」という風潮が年々強くなっている気がします。

求めることに終わりはありません。求めることで私たちの心が満たされることは永遠にないのではないのでしょうか。一方、与えるという営みは、私たちの心に幸せや豊かさをもたらしてくれるはずです。与えることと与えられることは実は表裏一体なのでしょう。

このことを心に留めてこれからの新しい生活に向き合ってほしいと願っています。

結びに、今日無事に卒業証書を手にする事ができたのは、多くの人の支えと励ましがあつたことを忘れないでください。皆さんは、決して一人で生きているのではなく、これからも多くの人の愛情と支えを糧に成長していくことができるのです。この感謝の気持ちをいつも心に刻んでください。卒業生の皆さんの限りない前途を心から祝福し、私の式辞といたします。

令和2年3月19日

北区立王子桜中学校 校長 吉原 健